

AI × まちづくり

“まちづくり”に人工知能 (AI) や自動走行技術を活用

市は、6月30日に本田技術研究所と「AI まちづくりに向けた技術実証実験に関する協定」を締結し、常総市をフィールドとしたホンダのAIや自動走行など最先端技術の技術実証実験が11月より本格的にスタートしました。

常総市は、人口減少・少子高齢化・公共交通の脆弱性・事業の後継者不足等の様々な課題があり、次代に応じたまちづくりに転換していくことが重要です。

そこで、ホンダの技術をはじめ、様々な企業の先端技術を活用することを通じて、課題解決を行い、常総市を発展させていく「AI まちづくり」を進めていきます。

◆問い合わせ＝☎常創戦略課(内線3902)



技術実証実験の拠点

技術実証実験は、「AI モビリティパーク紫峰」(石下総合福祉センター南側駐車場)を拠点として、**2つの知能化マイクロモビリティ技術の実証が行われています。**

※搭乗型マイクロモビリティ・・・クルマとバイクの中間に位置付けされるコンパクトで小回りが利く、環境性能に優れた電動モビリティであり、地域の手軽な移動の足となる1人～多人数乗りを想定した車両



市内での技術実証実験

Hondaは、2つの智能化マイクロモビリティ技術実証実験を、水海道あすなろの里やアグリサイエンスバレー地内などで行う予定です



市長が動画で紹介

市の公式 YouTube チャンネルで、AI モビリティパーク紫峰での技術実証実験や AI まちづくりについて動画を公開しています。



YouTube



▲第1回目の動画のサムネイル画像



▲▼動画では神達市長が事業の説明などを行います。



画像提供：本田技術研究所

技術実証実験で使用する智能化マイクロモビリティ

CiKoMa (サイコマ)

CiKoMa (サイコマ) は、好きなところで乗れて、自動走行技術で安全に移動、到達したらその場で乗り捨てできる搭乗型マイクロモビリティです。



WaPOCHI (ワポチ)

WaPOCHI (ワポチ) は、人の歩きたいを支えるマイクロモビリティロボットです。



常総まちづくり会議（仮称）の参加者を募集

常総市によるホンダの先端技術を活かした新たなまちづくりへの挑戦に向けては、市民や企業の皆さんと一緒に地域課題や課題解決へのアイデアなど意見を出し合いながら考えていかなければ実現できません。

それに先立ち、これまで6回にわたり市とホンダの若手職員/社員において、これから市民や企業の皆さんとともに新たなまちづくりについて検討を進めていくための議論を行い、準備を進めてきました。

今後本格的に皆さんと一緒にスタートしていくため、市やホンダとともにAIを活かした新たなまちづくりと一緒に考えてくださる方を募集します。



常総市×ホンダ×市民や企業等のみなさん



新たなまちづくり（AI まちづくり）に挑戦

対 象	AI 技術とまちづくりに興味のある方
申込方法	市 HP 申込フォームにより申込
申込期間	1 月 10 日～ 2 月 28 日まで（参加者随時募集）
そ の 他	詳細は、市 HP をご覧下さい。



市ホームページ

『みんなでつくる AI まちづくり』をテーマにパネルディスカッションを開催

AI 技術を活かしたまちづくりについての今後の取り組みや、市長や本田技術研究所 安井氏、教育関係者や農業関係者を交えてのパネルディスカッションを予定しています。知能化マイクロモビリティの紹介も行う予定です。

日 時	2 月 12 日（日）13：30～
場 所	生涯学習センター 多目的ホール
参 加 費	無料
申込方法	市 HP 申込フォームより申込
申込期限	1 月 31 日まで



市ホームページ



パネルディスカッションと併せて、「市内高校との地域課題解決」の成果を展示する予定です。